

1. 日本のGX実現に必要な民間資金の動員に向けて「資産運用フォーラム」が提言書を公表

【ポイント】

- ・ 政府は日本のGX実現に向けて、官民合わせて150兆円超の投資実現を目指しているが、その前提となる130兆円超の民間資金の動員をいかに実現するか、が重要である
- ・ 民間資金動員に関し、「資産運用フォーラム」が2025年10月、資産運用業界の目線から提言書を公表した
- ・ 具体的には、「資産運用業界と産業界との対話」「資産運用業界内の知見共有」「GX資金フローを支える基盤」に関して提言がなされている

2025年10月、「資産運用フォーラム」から「サステナブル・ファイナンスの観点から日本の更なる成長に繋がる民間資金の動員手段を模索する」と題する提言書^[1]が公表されました。

資産運用フォーラムは、「資産運用立国」を掲げた岸田文雄首相（当時）が2023年に打ち出した構想で、設立に向けた準備期間を経て2024年10月に設立されました（ニッセイアセットも設立準備段階から関わってきました）。

フォーラムは政府主導で設立された団体ではあるものの、**資産運用業界が活動の中心を担っている点が特徴**で、日本の資産運用業の発展等に向けて、国内外の資産運用会社が垣根を越えて議論・対話を行っています。

今回の提言書は、資産運用フォーラムの下に設置されている「サステナブル・ファイナンス分科会」で約半年間をかけて議論が行われ、取りまとめられました。

ニッセイアセットも同分科会の共同リーダーを務め、議論をリードしてきました。提言書発表の場となった2025年10月の資産運用フォーラム年次会合では、当社代表取締役社長の大関がモデレーターを務めるパネルディスカッションが設けられ、提言内容に関して議論が交わされました（下写真）。

本稿では、以下、今回のこの提言書のポイントを概説します。

議論の背景：GX実現に向けた民間資金動員の必要性

まず、今回の提言の背景にある課題意識は、日本のGX（グリーン・トランスフォーメーション）の実現に必要なとされる150兆円超の投資を、政府が掲げる2032年までにどのように実現するのか、という点です。**150兆円超のうち20兆円は政府が支援する計画ですが、残り130兆円超は民間からの資金動員が前提**となっています^[2]。しかし、その実現は必ずしも容易ではないとの指摘も少なくありません。

今回の提言書は、**GX実現に向けた130兆円超もの民間資金動員の実現に向けて、資産運用会社の目線から取りまとめられた、おそらく業界初の提言書**だと考えられます。



写真：
資産運用フォーラム年次会合
パネルディスカッションの様子。
当社社長の大関がモデレーターを務めた（写真左端）

資金動員に向けた資産運用フォーラムからの提言概要

提言は大きく3つの内容から構成されています（下表）。

第一の提言は、**資産運用業界と産業界の対話の在り方**に関してです。双方が「ソリューション思考」で、資金動員に向けて歩み寄る姿勢の重要性が指摘されています。

第二の提言は、**資産運用業界における知見の共有**に関してです。日本生命保険相互会社が独自に策定・公表した「トランジション・ファイナンス実践要領」のような取り組みを業界で共有し、規範化していくことの重要性が指摘されています。

第三の提言は、**大規模なGX資金フローを支える基盤**に関してです。具体的には、GXに関する投信商品や個人投資家との接点の拡大などが提案されています。

表：資産運用フォーラムの3つの提言事項

提言①	資産運用業界と産業界とが長期戦略をめぐって対話し、相互理解を促進する場を設定（「資産運用会社」と「産業界」の関係性の視点）
提言②	資産運用業界の中で自生的に共有・規範化を図る動きを促進（「資産運用会社」の自発行動）
提言③	（将来の）大規模なGX資金フローを支える機構・手管を整備する（我が国の資産運用「インベストメントチェーン」の視点）

出所：「資産運用フォーラム サステナブル・ファイナンス分科会ステートメント」を基にニッセイアセットが作成

おわりに

提言書でも触れられているとおり、日本のGX実現に必要なとされる150兆円超（うち、民間資金130兆円超）という数字はとてつもなく大きな金額です。一民間金融機関だけで実現可能な規模ではありません。とはいえ、GXは避けては通れない世界共通の重要課題です。

ニッセイアセットは資産運用業界の一員として、今回の提言内容も踏まえつつ、日本のGX実現に向け、資産運用フォーラムやその他のチャンネルを通じて産官学金の様々なステークホルダーと連携を図りながら、GX実現に向けた130兆円超の民間資金の動員に、微力ながら貢献していきたいと考えています。

[1] 提言書本文は以下のURLからご覧いただけます。

<https://amforum.jp/statement2025>

[2] 「GX実現に向けた基本方針」（2023年2月閣議決定）

2. AIGCCと共催でアセットオーナー・ワーキンググループを東京で開催しました

2025年10月から始まった「Japan Weeks 2025」に合わせて、AIGCC（アジア気候変動投資家グループ）とニッセイアセットの共催により、アセットオーナー・ワーキンググループを東京で開催しました。

「気候投資機会を探索する～アセットクラス別の可能性～」と題して開かれた今回の会合には、アジアを中心とする世界のアセットオーナーが参加し、気候関連投資についての取り組みや課題について、活発な議論が交わされました。

トランジション・ファイナンスを含む気候関連投資については、アセットオーナーによる理解・推進が不可欠です。ニッセイアセットとしても、AIGCCやアセットオーナーと連携しながら、引き続き、こうした領域に取り組んでいきたいと考えています。



3. 世界最大級のインパクト投資の国際会議「GIIN Impact Forum 2025」への参加を通じて

2025年10月、インパクト投資に関する世界最大級の会員組織であるGIIN（グローバルインパクト投資ネットワーク）の国際カンファレンス「GIIN Impact Forum 2025」が、ドイツ・ベルリンにて2日間にわたり開催されました。

今回の国際カンファレンスには、世界の60か国から1,200人を超える参加申し込みがあり、会場は熱気に包まれました。

世界のインパクト投資市場は引き続き拡大

カンファレンスに合わせて発表されたGIINによる最新の市場調査レポート^[1]でも、インパクト投資市場は引き続き拡大しており、2019年から2025年にかけて年平均21%、2024年から2025年にかけて11%、資産規模が拡大したと報告されています。同調査によれば、インパクト領域別では、気候ソリューション、水・衛生、持続可能な農業といった領域への投資拡大の兆候が見られるといえます。

こうしたテーマはカンファレンスでも取り上げられたほか、包摂的なAI、チャイルド・レンズ投資、栄養視点（Nutrition-lens）投資、文化資本（Cultural capital）といった、より新しいトピックも取り上げられました。

年金基金の動向にも注目

さて、今回の国際カンファレンスですが、もう一つの注目点は、年金基金によるインパクト投資への取り組みについてです。

インパクト投資を銘打って取り組む年金基金は、国際的にみてもまだまだ少ないのが現状ですが、カンファレンスに登壇した蘭APG、蘭PGGM、カナダ・オンタリオ州教職員年金、豪Rest Superなどの間には着実に広がってきているようです。

年金基金によるインパクト投資は、日本でも公的年金を中心に検討が始まっているとされ、市場の関心が高まっています。

おわりに

GIINについては、2025年6月に正式発足した「日本会合」^[2]も定期的に都内で会合が開催され、毎回、多くの金融機関が詰めかけるようになってきました。インパクト投資については引き続き、市場の関心が高い状況が続くそうです。

[1] GIIN（2025）“State of the Market 2025: Trends, Performance and Allocations” <https://thegiin.org/publication/research/state-of-the-market-2025-trends-performance-and-allocations/>

[2] GIIN（2025）「GIIN日本会合の発足により、成長著しい日本のインパクト投資市場へのコミットメントを強化」 <https://giin-web-assets.s3.amazonaws.com/giin/assets/press-release/press-release-giin-japan-working-group-05.29.25-japanese.pdf>

- ✓当資料は内外の債券、株式、為替市場等に関する情報提供を行うためのものです。予め特定の方向や対応を推奨する目的のものではありません。
- ✓これらの市場を投資対象とする商品、手法等は、投資対象国・地域等の経済状況や金融資本市場の動向、また有価証券等の発行者の経済活動等の変化を背景に、投資対象資産の価格が変動し、その下落により損失を被るおそれがあるほか、投資元本を割り込むリスクがあります。詳しくは各商品の商品説明資料をご確認ください。
- ✓これらの市場を投資対象とする商品、手法等は、お客様に手数料等をご負担いただきますが、手数料等の種類ごとの金額及びその合計額については具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。
- ✓これらの市場を投資対象とする商品、手法等の商品説明資料に記載されたシミュレーションやバックテスト等は、参考データをご提供する目的で作成したものであり、将来の利回りを保証するものではありません。
- ✓市場見通し等は、お客様の運用方針や投資判断等の参考となる情報の提供を目的としたものです。実際の投資等に係る最終的な決定は、お客様ご自身のご判断で行っていただきますようお願い申し上げます。
- ✓当資料に記載された市場を投資対象とする運用商品、手法等は、リスクを含みます。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果（損益）は全て投資家の皆様のものとなります。元本が保証された商品、手法ではありません。
- ✓当資料は、現時点で信頼できると考えられる情報を基に作成しておりますが、情報の正確性や完全性を保証するものではありません。
- ✓当資料に関わる一切の権利は、引用部分を除き弊社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断り致します。
- ✓当資料に掲載したインデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、当該インデックスの公表元またはその許諾者に帰属します。

<ニッセイアセット活動のご案内> 2026年2月20日に社外取締役の方向けシンポジウムを行います

ニッセイアセットでは、社外取締役の方をお招きし、「投資家視点の企業価値向上シンポジウム」を開催致します。近年のコーポレートガバナンス改革の進展により、社外取締役の方におかれましては企業価値向上における重要な役割を担っておられると存じます。そうした状況を踏まえ、日々のご活動の一助として頂くべく、投資家の考え方や視点を共有させて頂く場を設定致しました。

記

<開催日程> 2026年2月20日（金）

<開催場所> 丸ビルホール&コンファレンススクエア（丸ノ内ビルディング7F）

<対象> 社外取締役の方々

<主なプログラム>

午前の部：9:30-12:10（開場 9:00）

◇基調講演：社外取締役への期待（仮題）

株式会社東京証券取引所 取締役 常務執行役員 青克美氏

◇ガバナンスコード改訂とサステナビリティ開示基準への期待について：

弊社執行役員 チーフ・コーポレートガバナンス・オフィサー 井口譲二

◇投資家の企業分析の実際：

執行役員 共同チーフ・インベストメント・オフィサー 藤井智朗

◇企業価値向上に向けて望むこと：アナリストパネルディスカッション

パネリスト：執行役員 井口譲二、専門部長 木下靖朗・八並純子

◇WCD日本支部の活動のご紹介：WCD日本支部事務局長 志賀恭子氏

なお、プログラム詳細、登壇者等につきましては変更の可能性がございます。
参加者の皆様には後ほどプログラム詳細をご連絡いたします。

社外取締役で、ご興味のある方は、下記QRコードより参加申し込み下さい。

ネットワーキング・ランチ：12:10-13:00

午後の部：13:00-17:15

◇投資家のスチュワードシップ活動の実際：チーフ・アナリスト 伊豫田拓也

◇企業価値を高めるエンゲージメントの事例紹介：エンゲージメント専任チーフ・アナリスト 中山伊織

◇ニッセイアセットのESG分析の実際：

執行役員 小林博志、担当部長 橋田伸也、チーフ・アナリスト 寺門雅代

◇投資家からの社外取締役への期待：専門部長 木下靖朗

◇社外取締役の役割と課題（仮題）：外部有識者によるパネルディスカッション（50音順）

成蹊学園 学園長（WCD日本支部共同幹事）江川雅子氏

一般社団法人機関投資家協働対話フォーラム 理事 大堀龍介氏

早稲田大学 商学学術院 大学院経営管理研究科（ビジネススクール）教授 本田桂子氏

モデレーター：代表取締役社長 大関洋

〈主催〉ニッセイアセットマネジメント株式会社

ネットワーキング・カクテルディナー：17:15-18:00

〈後援〉WCD日本支部

＜お申込みについて＞

定員：午前の部・午後の部それぞれ先着150名（両方ご参加頂いても構いません）

参加費：無料

申し込み締切：2026年1月30日（金）

【ご登録QRコード及びURL】 <https://v2.nex-pro.com/campaign/87523/apply?group=037>



シンポジウム内容・運営に関するお問い合わせ

ニッセイアセットシンポジウム運営事務局 MAIL: nam_bu_unyokikaku@nam.co.jp

QRコードもしくはURLより登録ページを開き、お名前・社外取締役としての会社名・メールアドレス・参加されるイベント

* QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。（午前の部など）をご入力ください。登録完了後、入力いただいたメールアドレスに、「登録完了メール」が届きます。

【ニッセイアセットマネジメント(株)からのお知らせ】

○ご登録のお申込みをいただきましたお客様の個人情報は、ニッセイアセットマネジメント(株)が本シンポジウムの資料の送付やお問合せの際のご連絡先としてのみに利用し、これ以外の目的には利用いたしません。

詳しくは、弊社個人情報保護方針をご覧ください。(<https://www.nam.co.jp/company/policy/privacy.html>)

○本シンポジウムにてご紹介する運用商品及びその他の弊社運用商品の勧誘を行うことがあります。

○これらの運用商品は価格の変動により損失が生じる場合があります。

○投資一任契約では、個別契約ごとに投資顧問料や運用に際しての有価証券取引に係る売買手数料等、投資信託では、信託報酬等の費用が掛かります。各商品に関する運用リスクや手数料等諸費用の詳細につきましては、契約締結前交付書面、お客様向け資料等をご覧ください。